

ともに高まり合う！

令和3年も、また、2学期も残すところあとわずかとなりました。この2学期、多くの行事がある中で、一人一人の子ども達のがんばりには、目を見張るものがありました。一人一人が、「あと少し！」「失敗してもいいから挑戦しよう！」「考えて行動！」などと、一人一人が自分の力を伸ばそうとした結果、学習発表会やマラソン大会・ミニコンサートという大きな行事に力を出し切ることができたと思います。しかし、この力が出せたことは、一人一人のがんばりはもちろんですが、途中でまわりの友達と協力したり切磋琢磨したりした結果のたまものだと感じています。

発表会の練習の後、みんなで輪になって振り返りをし、次の練習ではどんなことをがんばればよいかと話し合っている学級がありました。「〇〇くん負けまいと思って走ったからよい記録が出た。」と喜ぶ声を聞くこともできました。そして、練習の時から、みんなで心を一つにしようと、指揮者を見ながら、まわりの音を聞きながら集中して演奏する子どもの姿を見ることもできました。

このような、「ともに高まり合う」様子は、普段の授業や生活の中でも見られました。友達の考えを真剣に聞き、うなずいたり、反対の意見を言ったりするなどの反応を返す子どもの姿。けんかをした後、自分のいやだったことを伝えるとともに自分の悪かったことも伝え、仲直りする子どもの姿。休憩時間、縄跳びの技のこつを教え合っている子ども達。一人だけでは、伸ばすことのできない力も、声をかけ合い、心を通じ合わせ、競い合うことで、「ともに高まり合う」ことができるのだと感じた2学期でした。

今度は、冬休みです。家庭で、地域で、多くの人と触れ合うことで、学校とは違った何かを学び自分の力を高めることができるものと信じています。家庭・地域の中で、少しでも子ども達の力を伸ばすことができるようなお力添えをいただきますようよろしくお願いいたします。

校長 田 丸 栄